

(表4) 主要授業科目の担当状況 (学士課程)

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
神学部		専門教育	専任担当科目数 (A)	76.0	7.0	126.0
			兼任担当科目数 (B)	1.0	0.0	22.0
			専兼比率 % ( $A / (A + B) * 100$ )	98.7%	100.0%	85.1%
		教養教育	専任担当科目数 (A)	170.0	115.3	584.1
			兼任担当科目数 (B)	44.0	141.7	484.7
			専兼比率 % ( $A / (A + B) * 100$ )	79.4%	44.9%	54.7%

[KG注] 必修科目には、キリスト教伝道者コース必修科目を含む。

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
文学部	文化歴史学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	130.0	43.0	173.0
			兼任担当科目数 (B)	27.0	92.0	128.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	82.8%	31.9%	57.5%
	総合心理科学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	63.0	31.0	125.0
			兼任担当科目数 (B)	36.0	7.0	71.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	63.6%	81.6%	63.8%
	文学言語学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	129.0	56.0	188.0
			兼任担当科目数 (B)	135.0	83.0	225.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	48.9%	40.3%	45.5%
	全学科	教養教育	専任担当科目数 (A)	117.0	57.0	699.1
			兼任担当科目数 (B)	403.0	20.0	898.7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	22.5%	74.0%	43.8%

[KG注] 共通科目であるキリスト教、言語教育、情報処理、人文演習、総合・入門は全学科・教養教育でカウントしている。

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
社会学部	社会学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	134.5	154.3	288.8
			兼任担当科目数 (B)	1.5	84.7	86.2
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	98.9%	64.6%	77.0%
		教養教育	専任担当科目数 (A)	134.0	35.0	642.1
			兼任担当科目数 (B)	209.0	145.8	830.7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	39.1%	19.4%	43.6%

[KG注] A・C群科目は「教養教育科目」、B群科目は「専門教育科目」としている。

ただし、A群科目「社会学入門A・B」、「社会調査入門A・B」および「研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は専門教育科目に含む。

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
法学部	法律学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	1.0	62.3	66.6
			兼任担当科目数 (B)	0.0	53.7	58.4
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	53.7%	53.3%
	政治学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	0.0	31.0	36.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	18.0	21.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0%	63.3%	63.2%
	全学科	教養教育	専任担当科目数 (A)	159.7	6.1	588.9
			兼任担当科目数 (B)	33.2	31.6	518.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	82.8%	16.2%	53.2%

[KG注] 専門教育科目で学科をまたぐ「法学・政治学外書講読」、「法学・政治学特講」、「法政文化研究演習」、

「スタートアップ演習」、「国際法政実践演習」「公共政策実践演習」、「法政教養演習」、「法学・政治学グローバル演習」、

「国内フィールドワーク演習」は学科別に開講していないので法律学科にすべて含んでいる。

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部		専門教育	専任担当科目数 (A)	9.0	89.0	215.6
			兼任担当科目数 (B)	0.0	26.0	42.4
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	77.4%	83.6%
		教養教育	専任担当科目数 (A)	29.0	205.0	733.8
			兼任担当科目数 (B)	2.0	287.0	696.1
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	93.5%	41.7%	51.3%

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
商学部		専門教育	専任担当科目数 (A)	12.0	94.5	280.5
			兼任担当科目数 (B)	0.0	52.5	54.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	64.3%	83.7%
		教養教育	専任担当科目数 (A)	42.0	43.0	661.1
			兼任担当科目数 (B)	118.0	113.0	726.7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	26.3%	27.6%	47.6%

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理工学部	数理科学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	0.0	60.0	69.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	2.0	3.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0%	96.8%	95.8%
	物理学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	33.0	45.0	89.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	8.0	8.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	84.9%	91.8%
	先進エネルギー ナノ工学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	51.0	30.0	82.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	8.0	8.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	78.9%	91.1%
	化学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	35.0	25.0	65.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	10.0	10.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	71.4%	86.7%
	環境・応用化学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	39.0	24.0	63.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	8.0	8.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	75.0%	88.7%

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理工学部	生命科学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	35.0	26.0	63.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	1.0	1.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	96.3%	98.4%
	生命医化学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	32.0	29.0	61.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	100.0%	100.0%
	情報科学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	65.0	41.0	107.0
			兼任担当科目数 (B)	1.0	5.0	6.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	98.5%	89.1%	94.7%
	人間システム工学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	73.0	33.0	106.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	5.0	5.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	86.8%	95.5%
	全学科	教養教育	専任担当科目数 (A)	300.0	0.0	303.0
			兼任担当科目数 (B)	36.0	0.0	62.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	89.3%	0.0%	83.0%

[KG注] 学科をまたぐ科目については、該当する学科の表記順で先に記載されている学科にカウントしている。

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
総合政策学部	総合政策学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	142.0	158.0	411.0
			兼任担当科目数 (B)	122.0	233.0	441.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	53.8%	40.4%	48.2%
	メディア情報学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	28.0	4.0	47.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	6.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	100.0%	88.7%
	都市政策学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	34.0	1.0	68.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	1.0	24.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	50.0%	73.9%
	国際政策学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	35.0	3.0	51.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	2.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	100.0%	96.2%
	全学科	教養教育	専任担当科目数 (A)	6.0	0.0	531.1
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	455.7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	53.8%

[KG注] 学科をまたぐ科目については、すべて総合政策学科にカウントしている。



学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
人間福祉学部	社会福祉学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	38.0	8.0	112.1
			兼任担当科目数 (B)	2.0	3.0	82.9
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	95.0%	72.7%	57.5%
	社会起業学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	24.1	0.0	64.7
			兼任担当科目数 (B)	0.9	0.0	26.3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	96.3%	0.0%	71.1%
	人間科学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	26.0	0.0	74.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	42.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	63.8%
	全学科	教養教育	専任担当科目数 (A)	133.0	22.0	567.8
			兼任担当科目数 (B)	115.0	50.0	611.1
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	53.6%	30.6%	48.2%

[KG注] (人間福祉学部) 専門教育科目で学科をまたぐ科目については、以下の学科にカウントしている。

社会福祉学科カウント科目：「地域福祉論」「公的扶助論」「社会保障論A」「社会保障論B」「障害学」「現代の医療と医学」  
「コミュニティワーク論」

社会起業学科カウント科目：「人間福祉情報論」「社会福祉計画論」「NPO論」「社会問題論」「社会的排除論」「ボランティア論」  
「福祉政策論」「人間多様性論」「国際問題論」「Human Welfare and International Development」  
「社会とスポーツ」

人間科学科カウント科目：「日本のシニアビジネスの課題と展望」「ヘルスプロモーション概論」「死生学」「精神保健学」  
「精神医学A」「精神医学B」「子ども学」「家族援助論」「老年学」「悲嘆学」「生命倫理学」

教養教育カウント科目：「人間福祉グローバル演習E」

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
教育学部	教育学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	202.0	183.0	464.0
			兼任担当科目数 (B)	1.0	101.0	133.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	99.5%	64.4%	77.7%
		教養教育	専任担当科目数 (A)	29.0	9.0	396.1
			兼任担当科目数 (B)	105.0	69.0	532.7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	21.6%	11.5%	42.6%

[KG注] 幼児・初等教育学科および臨床教育学科は2012年度をもって募集停止。2013年度教育学科を開設。

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
国際学部	国際学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	131.0	124.3	255.3
			兼任担当科目数 (B)	0.0	101.8	101.8
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	55.0%	71.5%
		教養教育	専任担当科目数 (A)	8.0	88.0	497.6
			兼任担当科目数 (B)	0.0	90.5	506.2
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	49.3%	49.6%

## [注]

- 1 この表は、大学設置基準第10条第1項にいう「教育上主要と認める授業科目（主要授業科目）」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 原則として学科単位で記入してください。
- 3 履修者の有無にかかわらず、カリキュラム上設定された科目はすべて対象となります。
- 4 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部、研究科・その他の学部教育担当組織等の専任教員による兼任科目も含めてください。
- 5 大学の設定する区分に応じて、「教育区分」の名称を記入してください。なお、専門職大学及び専門職学科については、専門職大学設置基準第13条又は大学設置基準第42条の9に定める科目を置くことになっているため、これを踏まえながら作表してください。
- 6 課程を前期・後期で分けている専門職大学にあっては、学科ごとにさらに前期と後期で分けて作表してください。
- 7 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 8 セメスター制、クォーター制等を採用している場合であっても、通年単位で作成してください。
- 9 1クラスのみ開講される科目を複数の教員が担当する場合は、専任教員と兼任教員の人数比をもとに記載してください。  
例①：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任担当科目数0.8、兼任担当科目数0.2  
例②：兼任のみ5人で担当の場合は、兼任担当科目数1.0
- 10 同一科目を複数クラスで開講している場合の計算方法は下記の通りです。  
①同一教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1.0。  
②複数教員による場合→専任教員と兼任教員の人数比による。例えば、すべての専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、専任教員と兼任教員が1名ずつで担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5。

## [KG注]

- 1 春・秋学期開講の集中科目を除く。